

今日から、こうして3学年がそろいました。こうして皆さんの元気な顔を見ることができるのが、何よりの喜びです。

夏休み中も、いろんな活動をしてくれました。3年生は、進路見学会や応募前職場見学、そして就職希望の人は、受験する企業が決まり、志望動機などを書いて、いよいよ直前の面接練習が始まります。指定校推薦の募集も始まりました。希望する人は、保護者の方ともよく相談して、申し込んでください。2年生は、オープンキャンパスに行っ、多くの学校の説明を聞いたことでしょう。今後の志望校選択の参考にしてください。1年生は、職業インタビューでしたね。うまくできましたか。9月には発表会があります。また出身中学校に行っ、緑風冠のPRもしてくれました。

部活動でも練習や合宿の他、公式戦などで、多くの活動をしてくれました。素晴らしい結果を残してくれた人は、この後、表彰させてもらいます。でもたとえ賞状はもらえなくても、自己新記録を出したとか、試合で練習通りのプレーができたとか、きっと得るところは多かったと思います。8月24日に男女のバスケットボール部が公式戦を戦いました。応援に来てくれた人もいると思います。残念ながら負けてしまったけれど、日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい試合でした。特に男子は、1Qの後半、素晴らしいディフェンスで、相手の攻撃を完全に抑え込みました。毎日繰り返し練習してきたことが、実を結んだと思います。

さて今日は、野球部が校歌を歌ってくれたので、野球の話をししましょう。今年の甲子園は、前橋育英と延岡学園が決勝を戦いました。4-3で前橋育英が勝ち、初出場初優勝を飾りました。その9回表の前橋育英の攻撃、1死3塁のチャンスで、バッターの打ったファールチップが延岡学園のキャッチャーの右手に当たり、キャッチャーは痛みでうずくまりました。その時すぐに、前橋育英の1塁コーチが駆け付け、持っていたコールドスプレーで、相手キャッチャーの治療を行いました。さらに前橋育英のバッターは、キャッチャーのマスクとミットを手を持って、治療が終わるのをずっと待ちました。続いて9回裏の延岡学園の攻撃、1死1、2塁のチャンスで、バッターの打ったフライを取りに行った前橋育英のキャッチャーのマスクを、今度は延岡学園の次の打者が拾って、相手キャッチャーに渡しました。決勝戦の1点を争う緊迫した場面で、お互い相手を思いやる素晴らしい光景でした。優勝した前橋育英の目標は「凡事徹底」。つまり、あたり前のことを徹底して行うということです。野球の技術だけでなく、挨拶、服装、時間の厳守、清掃なども徹底して行っているそうです。延岡学園も同じような目標を掲げているそうです。日頃から、あたり前のことをあたり前に行うから、決勝戦でも、自然に相手を思いやる行動ができたのだと思います。先ほどの男子バスケットボール部も、毎日の練習であたり前のこととして行っているから、公式戦であのような素晴らしいディフェンスができたのだと思います。皆さんも「あたり前のことをあたり前にできる」ようになれば、つまり1学期の終業式でも言ったように「言われなくてもできる」ようになれば、皆さんの力は、ぐっと伸びることでしょう。

全員、まずこの後の文化祭で、そして部活動では秋の大会やコンクール等で力を存分に発揮しましょう。そして3年生は自分の進路を実現させましょう。2年生、1年生は、模擬試験などで、自分の力を試しましょう。素晴らしい2学期になることを期待しています。